

矯正歯科治療を 過去に受けられた患者さんと 現在受けられている患者さんへ

この度、当科では、「骨格性不正咬合患者の顎顔面形態と矯正歯科治療効果との関連の検討」という臨床研究を開始しましたのでご報告させていただきます。

本研究の目的は、上あごや下あごの成長が過剰であったり遅れているために、噛み合わせに異常が生じている患者さん（骨格性不正咬合といいます）の治療前の上あごや顔、歯列の形をもとに、その後の矯正歯科治療の効果を予測する方法を確立することです。この研究により、患者さん一人一人に対する治療の予後推定の正確さが現在より飛躍的に向上すると考えられ、患者さんにより負担の少ない治療方法を選択することにつながると考えられます。

当矯正歯科もしくは恵佑会矯正歯科クリニックを受診された患者さんの矯正歯科治療に通常必要となる資料（顔の写真、口の中の写真、歯やあご・顔のエックス線写真および歯型の模型）を用いて計測を行い、これらの値を統計的に解析します。

したがって、本研究のために、患者さんから新たに検査の資料を採らせていただくことはありません。また、研究に関し患者さんの名前やプライバシーが外部に漏れることは一切ありません。

上記の資料を本研究のために用いるのは、以下の研究者のみです。

研究代表者：梶井 貴史（矯正歯科 部長）

この臨床研究についての疑問や心配事（個人情報の開示や利用停止、苦情など）がありましたらいつでも遠慮なく申し出てください。

問い合わせ先：

社会医療法人恵佑会札幌病院 矯正歯科 梶井
電話 011-863-2101

令和2年3月

社会医療法人恵佑会札幌病院 矯正歯科
部長 梶井 貴史